

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-138725

(43)Date of publication of application : 27.05.1997

(51)Int.Cl.	G06F 3/02
	G06F 3/02
	G06F 19/00

(21)Application number : 07-295418 (71)Applicant : OKI ELECTRIC IND CO LTD

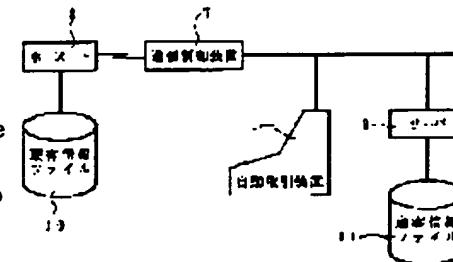
(22)Date of filing : 14.11.1995 (72)Inventor : OKAMOTO KOICHI

(54) ONE TOUCH OPERATION SUPPLY METHOD FOR AUTOMATIC TRANSACTION DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simplify the customer operation of an automatic transaction device and to shorten operation time.

SOLUTION: A customer makes an operation procedure for operating the automatic transaction device 1 into a file as customer-only key information dedicated for the customer and registers it in customer information files 10 and 11. Customer-only keys for the respective customers are supplied to the automatic transaction device 1 with customer-only key information. Then, the operation corresponding to the customer-only key can be completed with one touch.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 24.03.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

資料5号

(10)日本特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号

特開平9-138725

(43)公開日 平成9年(1997)5月27日

(51)Int.Cl. G 06 F 3/02	識別記号 3 6 0 3 8 0 19/00	序内整理番号 P 1 G 06 F 3/02 15/30	技術及示査所 3 6 0 C 3 8 0 B 10000640001 A [Barcode]
----------------------------	---------------------------------	---------------------------------------	---

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全11頁)

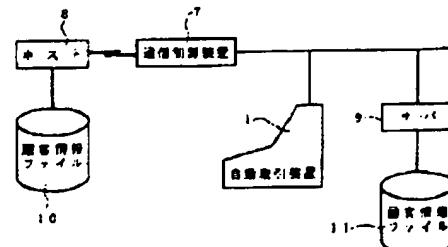
(21)出願番号 特願平7-295418	(71)出願人 000000295 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
(22)出願日 平成7年(1995)11月14日	(72)発明者 岡本 浩一 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気 工業株式会社内
	(74)代理人 弁理士 金倉 靖二

(54)【発明の名称】自動取引装置のワンタッチオペレーション提供方法

(57)【要約】

【技術】自動取引装置の顧客オペレーションを簡略化するとともにオペレーション時間を短縮することを課題としている。

【解決手段】顧客が自動取引装置1を操作するオペレーション手順を、その顧客専用の顧客専用ボタン情報としてファイル化して顧客情報ファイル10、11に登録し、前記顧客専用ボタン情報をによって自動取引装置1に顧客専用ボタン1-3を提供し、顧客がその顧客専用ボタン1-3を押下することにより、該顧客専用ボタン1-3に登録したオペレーションをワンタッチにて完了させることを可能とする。



発明の要旨を示すハードウェア構成

【特許請求の範囲】

【請求項1】顧客が自動取引装置を操作するオペレーション手段を、その顧客専用の顧客専用ボタン情報をとしてファイル化して顧客情報ファイルに登録し、前記顧客専用ボタン情報によって自動取引装置に顧客専用ボタンを提供し、

顧客がその顧客専用ボタンを押下することにより、該顧客専用ボタンに対応したオペレーションをワンタッチにて完了させることを可能としたことを特徴とする自動取引装置のワンタッチオペレーション提供方法。

【請求項2】請求項1において、自動取引装置に近接して設置されたサーバの顧客情報ファイルに、顧客専用ボタン情報を登録することとしたことを特徴とする自動取引装置のワンタッチオペレーション提供方法。

【請求項3】請求項1において、自動取引装置に接続したホストコンピュータの顧客情報ファイルに、顧客専用ボタン情報を登録することとしたことを特徴とする自動取引装置のワンタッチオペレーション提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、自動取引装置のワンタッチオペレーション提供方法に係り、特に、顧客専用ボタンによるワンタッチオペレーション提供方法に関する。

【0002】

【従来の技術】銀行その他の企金融機関等の自動取引装置で、顧客が行う取引の中で、毎月定期を払い出す場合や、毎月同様の振込を行う場合等のように、同様の操作をある頻度で繰り返し行なうことがあるが、従来の技術によると、これらの繰り返し行なわれる取引についても、通常の取引と同様なオペレーションを行う必要があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の方法では、顧客は、ある頻度で繰り返し行なうといふような定型的な取引内容であっても、通常の取引と同様に、新規にはじめから順を追ってオペレーションを行ななければならず、顧客オペレーションの負担が大きく、オペレーションに時間を要するという問題があつた。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、顧客が自動取引装置を操作するオペレーション手段を、その顧客専用の顧客専用ボタン情報をとしてファイル化して顧客情報ファイルに登録し、その顧客専用ボタン情報をによって自動取引装置に顧客専用ボタンを提供し、顧客がその顧客専用ボタンを押下することにより、この顧客専用ボタンに登録したオペレーションをワンタッチ方式で実現することを可能としたことを特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】以下に図を用いて本発明の実施の形態を説明する。

図1の実施の形態

図1は実施の形態を示すハードウェア構成図であり、この図において1は自動取引装置を示している。図2は自動取引装置の外観図、図3は自動取引装置の構造ブロック図である。

【0006】自動取引装置1は表示・入力部2を有し、この表示・入力部2は、例えば液晶やCRT等によるディスプレイにタッチパネルを併せた構成であり、顧客に情報を表示するとともに入力操作を受け入れる。3はカード取扱部であり、顧客のカードを受け入れてカードの記録部に記録された情報を読み出す。4は通帳取扱部を示し、顧客の通帳を受け入れてその通帳の融資記録部等から情報を読み出すとともに取引内容等の情報をその通帳に印字することができる。5は振替口であり、現金等の受け入れ・払い出しを行う。

【0007】6は計算部であり、前記の表示・入力部2、カード取扱部3、通帳取扱部4および振替口5等を制御して機能させる。上記の自動取引装置1が、図1に示すように、通信制御装置7を介してホストコンピュータ8に接続される。また、その自動取引装置1はサーバ9とも接続されており、このサーバ9は例えばその自動取引装置1の置かれた支店等の店舗毎に設置されているものである。

【0008】ホスト8は、顧客専用の個別情報が蓄積されている顧客情報ファイル10を有し、また、オーバリも顧客専用の個別情報が蓄積されている顧客情報ファイル11を有する。本実施の形態は、このサーバリの顧客情報ファイル11に、後述する顧客専用ボタン情報を登録することを特徴としている。図4は顧客専用ボタン登録のフローチャート(1)であり、これは、全顧客を対象とした場合について示したもので、以下、各ステップ毎に説明する。

【0009】Sa1：表示・入力部2の画面に表示された各種機能から、顧客専用ボタンの登録を選択する。図5は顧客専用ボタン登録画面例を示す説明図であり、この図の(A)に示すように、表示・入力部2の画面上に登録用のボタン12を表示し、顧客専用ボタン登録選択を受け入れ可能とする。なお、この画面上では顧客専用ボタン13は未登録であるのでそのように表示されている。顧客はこの登録用ボタン12を押下して顧客専用ボタン登録を選択する。このことにより、図5の(B)に示すように登録用のボタン12の表示が変化し、ここでは「登録1」と表示された登録用ボタン12が選択されたことがわかる。

【0010】Sa2：通常の顧客オペレーションを行う。

Sa3：上記顧客オペレーションが終了した場合、処理をSa4に進めるが、ド端に完了しなかつた場合には、処理を終了させる。

Sa4：上記顧客オペレーションの手順を、顧客専用

ボタン操作としてファイル化し、顧客情報ファイルに登録する。本実施例では、サーバ9の顧客情報ファイル11に登録することとしている。

【0011】なお、顧客専用ボタン登録の選択は顧客オペレーションの途中でも可能とし、上顧客に対して複数の顧客専用ボタンの登録も可能とする。図8は顧客専用ボタン登録のフローチャート(2)であり、これは、ある条件に該当する顧客のみを対象としてサーバ側に顧客専用ボタン登録を行う場合について示したもので、以下、各スループ段に説明する。

【0012】Sb1：顧客は、自動取引装置1のカード取扱部3にカードを挿入する。カード取扱部3はこのカードの磁気ストライプ等に記載された口座番号や氏名等の情報を読み取る。

Sb2：顧客は、表示・入力部2から暗証番号を入力する。(例し、預金等の場合に暗証番号入力を求めない設定で運用している場合、このステップを飛ばしてもよい。)

Sb3：自動取引装置1は、Sb1でカードから読み取った情報に基づき、サーバ9にアクセスしてその顧客情報11ファイルを検索し、当該顧客がその銀行あるいは支店等の基準によって顧客専用ボタン登録可とされているかどうかを調べる。

【0013】Sb4：当該顧客が、顧客専用ボタン登録不可であれば、処理をSb5に分岐するが、顧客専用ボタン登録可であれば処理をSb6へ進める。

Sb5：顧客専用ボタン登録はできないので、顧客専用ボタン登録を選択可としないで、通常のオペレーションを実行して処理を終了する。

Sb6：顧客専用ボタン登録可能があるので、顧客専用ボタン登録を選択可とする。図8の(A)に示すように、表示・入力部2の画面上に登録用のボタン12を表示し、顧客専用ボタン登録選択を受け入れ可能とする。なお、この画面では、まだ顧客専用ボタン13は未登録であるので、そのように表示されている。

【0014】Sb7：顧客は上記の登録用ボタン12を押下して、顧客専用ボタン登録を選択する。このことにより、図8の(B)に示すように、登録用ボタン12の表示が変化し、ここでは「登録1」と表示された登録用ボタン12が選択されたことがわかる。

Sb8：引き続き顧客は通常のオペレーションを行う。

【0015】Sb9：上記顧客オペレーションが正常に完了した場合は処理をSb10に進め、正常に完了しなかった場合は、処理を終了させる。

Sb10：上記のオペレーションの内容を顧客専用ボタン登録としてファイル化し、サーバ9の顧客情報ファイル11に登録する。以降、顧客は、上述のように登録された顧客専用ボタンを用いて取引操作を行うことができる。

【0016】図7は顧客専用ボタン操作のフローチャートであり、この図の各ステップ毎に顧客専用ボタンを用いた取引操作について説明する。

Sc1：顧客は、自動取引装置1のカード取扱部3にカードを挿入する。カード取扱部3はこのカードの磁気ストライプ等に記載された口座番号や氏名等の情報を読み取る。

【0017】Sc2：表示・操作部2から暗証番号を入力する。(例し、預金等の場合に暗証番号入力を求めない設定で運用している場合、このステップを飛ばしてもよい。)

Sc3：副操作部6は、カードから読み取った情報に基づき顧客情報ファイルから当該顧客の専用ボタン情報を取得する。本実施例の形態では、サーバ9にアクセスし、このサーバ9の顧客情報ファイル11から情報を取得することになる。

【0018】Sc4：この顧客専用ボタン操作に基づき、顧客専用ボタンおよび応応する詳細説明ボタンを、表示・操作部2の画面上に表示する。図8は顧客専用ボタンと操作画面例を示す説明図であり、例えばこの図の(A)のよう表示する。ここで、顧客は画面上に表示されたボタンを押下する。押されたボタンに応じてSb5あるいはSc8の処理のどちらかに進む。

【0019】Sc5：図8の(A)の画面表示において、詳細な説明を表示するため、詳細説明ボタン14を押下する。

Sc6：顧客が詳細説明ボタン14を押下したことにより、画面は例えば図8の(B)のようになる。この画面では登録された顧客専用ボタンの取扱についてその処理内容の詳細を示すものであり、顧客専用ボタン情報から編集されたもので、例えば文字の他にもグラフィックを用いる等ヴィジュアル的に分かりやすく表示する。

【0020】Sc7：詳細説明画面により内容を理解した後、確認ボタン15を押下する。これにより画面は図8の(A)に戻る。ちなみに、処理をSc4に戻す。

Sc8：登録された顧客専用ボタンの取扱を選択するために、図8の(A)の画面表示において、顧客専用ボタン13を押下する。

Sc9：押下されると顧客専用ボタン13に対応して登録された処理が自動実行され、そのフランクライオペレーションで処理は完了する。

【0021】第2の実施形態

図1は実施の形態を示すハードウェア構成であり、この図において1は自動取引装置を示している。図2は自動取引装置の外観図、図3は自動取引装置の構成ブロック図である。自動取引装置1は表示・入力部2を有し、この表示・入力部2は、例文は液晶やCRT等によるディスプレイにタッチパネルを叠加した構成であり、顧客に情報を表示するとともに入力操作を受け入れる。

【0022】3はカード取扱部であり、顧客のカードを

受け入れてカードの記録部に記録された情報を読み出す。4は通帳取扱部を示し、顧客の通帳を受け入れてその通帳の磁気記録部等から情報を読み出すとともに取引内容等の情報をその画面に表示することができる。5は操作部であり、現金等の受け入れ・払い出しを行なう。6は制御部であり、前記の表示・入力部2、カード取扱部3、通帳取扱部4および顧客5を制御して操作させる。

【0023】上記の自動取引装置1が、図1に示すように、通信制御装置7を介してホストコンピュータ8に接続される。また、その自動取引装置1はリバーサルモード接続されており、このサーバリバーサルモードはその自動取引装置1の書かれた支店等の店舗番号に設置されているものである。ホスト8は、顧客等の固別情報を蓄積している顧客情報ファイル10を有する。また、サーバリバーサルモードの顧客情報が登録されている顧客情報ファイル11を有する。本実施の形態は、そのホスト8の顧客情報ファイル10に、前述する顧客専用ボタン登録を登録することを特徴としている。

【0024】図4は顧客専用ボタン登録のフローチャート(1)であり、これは、全顧客を対象とした場合について示したもので、以下、各ステップ毎に説明する。

S₁： 表示・入力部2の画面に表示された各種選択から、顧客専用ボタンの登録を選択する。図5は顧客専用ボタン登録画面例を示す説明図であり、この図の(A)に示すように、表示・入力部2の画面上に登録用のボタン12を表示し、顧客専用ボタン登録選択を受け入れ可能とする。なお、この画面上では顧客専用ボタン13は未登録であるのでそのように表示されている。顧客12の登録用ボタン12を押下して顧客専用ボタン登録を選択する。このことにより、図5の(B)に示すように登録用のボタン12の表示が変化し、ここでは「登録1」と表示された登録用ボタン12が選択されたことがわかる。

【0025】S₂： 通常の顧客オペレーションを行う。

S₃： 上記顧客オペレーションが正常に完了した場合、処理をS₄に進めるが、正常に完了しなかった場合には、処理を終了させる。

S₄： 上記顧客オペレーションの手順を、顧客専用ボタン情報としてファイル化し、顧客情報ファイルに登録する。本実施の形態では、ホスト8の顧客情報ファイル10に登録することとしている。

【0026】なお、顧客専用ボタン登録の選択は顧客オペレーションの途中でも可能とし、1顧客に対して複数の登録用ボタンの登録も可能とする。図9は顧客専用ボタン登録のフローチャート(3)であり、これは、ある条件に該当する顧客のみを対象としてホスト側に顧客専用ボタン登録を行う場合について示したもので、以下、各ステップ毎に説明する。

【0027】S₁： 顧客は、自動取引装置1のカード取扱部3にカードを挿入する。カード取扱部3はこのカードの磁気ストライプ等に記録されたID暗証番号や氏名等の情報を読み取る。

S₂： 顧客は、表示・入力部2から暗証番号を入力する。(但し、現金等の場合に時証番号入力を求めない設定で選択している場合、このステップを飛ばしてもよい。)

S₃： 自動取引装置1は、S₁でカードから読み取った情報およびS₂で受け入れた暗証番号の情報を算出しつき、ホスト8と通信し、暗証番号の正當性を確認するとともに銀行の判断基準に照らし合わせて顧客専用ボタンの登録が可能とするか不可能とするか判断する。

(例えは、当該の銀行に300万円以上預金している顧客のみを対象とする等のように判断基準を決めておく。)

S₄： 暗証番号が正當であった場合、処理をS₅に進めるが、そうでない場合は処理を終了させる。

【0028】S₅： 当該顧客が、顧客専用ボタン登録不可と判定された場合、処理をS₆に分岐するが、顧客専用ボタン登録可であれば処理をS₇へ進める。

S₆： 顧客専用ボタン登録はできないので、顧客専用ボタン登録を選択可しないで起き、通常のオペレーションを実行して処理を終了する。

S₇： 顧客専用ボタン登録可能であるので、顧客専用ボタン登録を選択可とする。図5の(A)に示すように、表示・入力部2の画面上に登録用のボタン12を表示し、顧客専用ボタン登録選択を受け入れ可能とする。なお、この画面上では、まだ顧客専用ボタン13は未登録であるので、そのように表示されている。

【0029】S₈： 顧客は上記の登録用ボタン12を押下して、顧客専用ボタン登録を選択する。このことにより、図5の(B)に示すように、登録用ボタン12の表示が変化し、ここでは「登録1」と表示された登録用ボタン12が選択されたことがわかる。

S₉： 引き続き顧客は通常のオペレーションを行う。

【0030】S₁₀： 上記顧客オペレーションが正常に完了した場合は、処理をS₁₁へ進み、正常に完了しなかった場合には、処理を終了させる。

S₁₁： 上記のオペレーションの内容を顧客専用ボタン情報としてファイル化し、ホスト8の顧客情報ファイル10に登録する。以降、顧客は、上述のように登録された顧客専用ボタンを用いて取引操作を行うことができる。

【0031】図7は顧客専用ボタン操作手順フローチャートであり、この図の各ステップ毎に顧客専用ボタンを用いた取引操作について説明する。

S₁： 顧客は、自動取引装置1のカード取扱部3にカードを挿入する。カード取扱部3はこのカードの磁気

ストライプ等に記載された口座番号や氏名等の情報を読み取る。

【0032】Sc2：表示・操作部よりから確認番号を入力する。（但し、預金分の場合に確認番号入力を求めない設定で運用している場合、このステップを飛ばしてもよい。）

Sc3：制御部6は、カードから読み取った情報を基づき顧客情報ファイルから当該顧客の専用ボタン情報を取得する。本実施の形態では、ホスト8にアクセスし、このホスト8の顧客情報ファイル10から情報を取得することになる。

【0033】Sc4：この顧客専用ボタン情報を基づき、顧客専用ボタンおよび対応する詳細説明ボタンを、表示・操作部2の画面2上に表示する。図8は顧客専用ボタン操作画面例を示す説明図であり、例えばこの図の(A)のよう表示する。ここで、顧客は画面上に表示されたボタンを押下する。

Sc5：図8の(A)の画面表示において、詳細な説明を表示させるため、詳細説明ボタン14を押下する。

【0034】Sc6：顧客が詳細説明ボタン14を押下したことにより、画面は例えば図8の(B)のようになる。この画面は登録された顧客専用ボタンの取引についてその処理内容の詳細を示すものであり、顧客専用ボタン情報から選択されたもので、例えば文字の他にもグラフィックを用いる等ヴィジュアル的に分かりやすく表示する。

【0035】Sc7：詳細説明画面に上り内容を理解した後、確認ボタン15を押下する。これにより画面は図8の(A)に戻る。すなわち、処理をSc4に進む。

Sc8：登録された顧客専用ボタンの取引を提供するために、図8の(A)の画面表示において、顧客専用ボタン13を押下する。

Sc9：押下された顧客専用ボタンに対応して登録された処理が自動実行され、そのワンタッチオペレーションで処理は完了する。

【0036】なお、上述の第1および第2の実施の形態では、一例として支払取引を登録することとして説明したが、これに限らず、他の各種取引を登録することとしてもよく、例えば振込取引を登録した場合、振込カードを用いずにワンタッチオペレーションにて取引を完了させることが可能となる。また、第1の実施の形態では、サーバーの顧客情報ファイル11に顧客専用ボタン情報を登録することとし、第2の実施の形態では、ホスト8の顧客情報ファイル10に顧客専用ボタン情報を登録することとして説明したが、これは双方の顧客情報ファイル10、11に登録することとしてもよい。

【0037】
【発明の効果】以上詳細に説明したように、自動取引装置の顧客オペレーションを顧客専用ボタン情報としてソリューション化し、顧客情報ファイルに登録し、自動取引装置に顧客専用ボタンを提供したことにより、顧客が定期的に行う同一のオペレーションをワンタッチオペレーションにより完了することが可能となり、顧客オペレーションを簡略化することができる効果を有する。

【0038】さらに、ワンタッチオペレーションを利用することにより、処理スピードが大幅に向かし、自動取引装置の待ち時間が短縮され、顧客サービスの向上を実現する効果を有する。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】実施の形態を示すハードウェア構成図
- 【図2】自動取引装置の外観図
- 【図3】自動取引装置の簡略ブロック図
- 【図4】顧客専用ボタン登録のフローチャート(1)
- 【図5】顧客専用ボタン登録画面例を示す説明図
- 【図6】顧客専用ボタン登録のフローチャート(2)
- 【図7】顧客専用ボタン操作のフローチャート
- 【図8】顧客専用ボタン操作画面例を示す説明図
- 【図9】顧客専用ボタン登録のフローチャート(3)

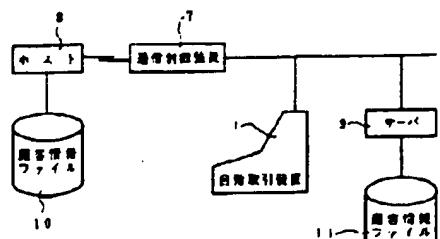
【符号の説明】

- 1 自動取引装置
- 2 ホストコンピュータ
- 3 サーバ
- 4 顧客情報ファイル
- 5 顧客情報ファイル
- 6 登録用ボタン
- 7 顧客専用ボタン

(G)

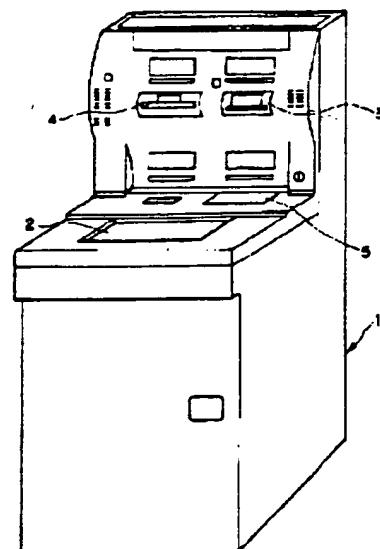
特開平9-138725

【図1】



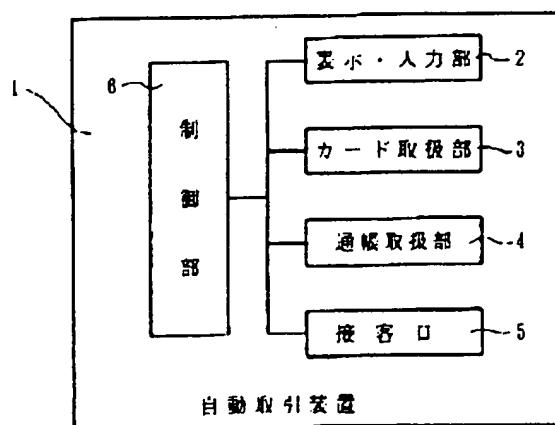
本機中で表示するハードウェア構成図

【図2】



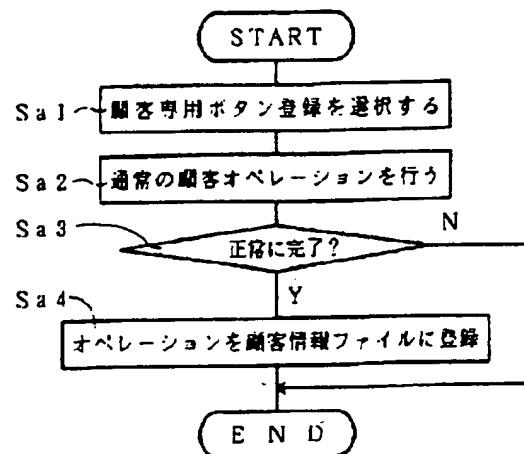
自動取引装置の外観図

【図3】



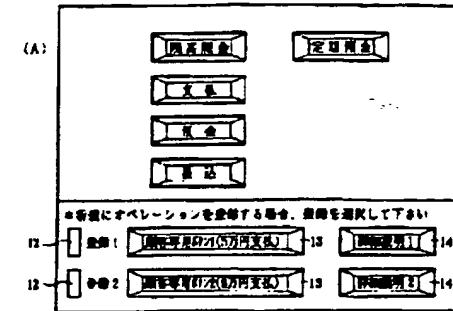
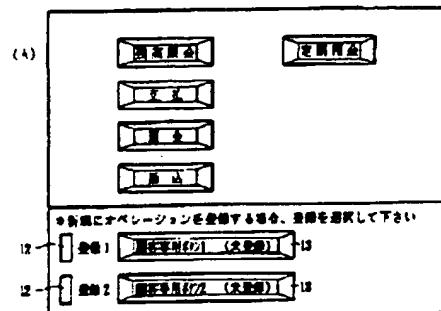
自動取引装置の簡略ブロック図

【図4】



廉客専用ボタン登録のフローチャート (1)

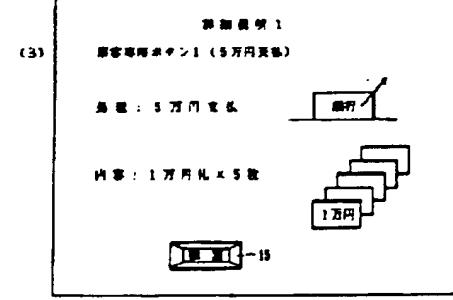
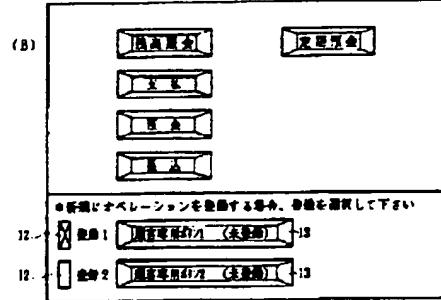
【図5】



「登録1」を選択

「登録2」按下

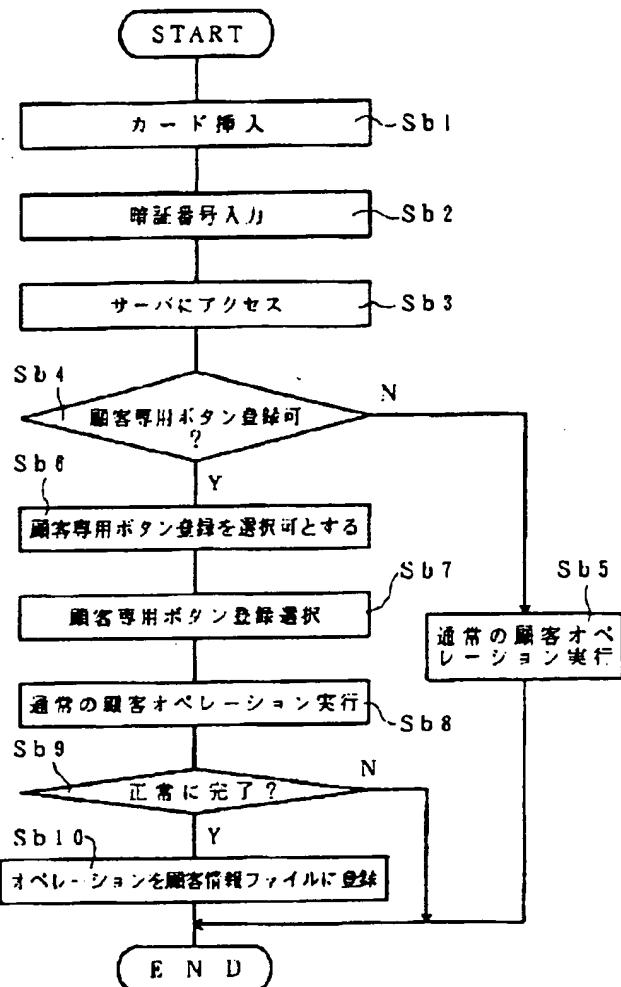
「登録」按下



乗客専用ボタン登録画面表示を示す説明図

乗客専用ボタン登録画面表示を示す説明図

【図6】

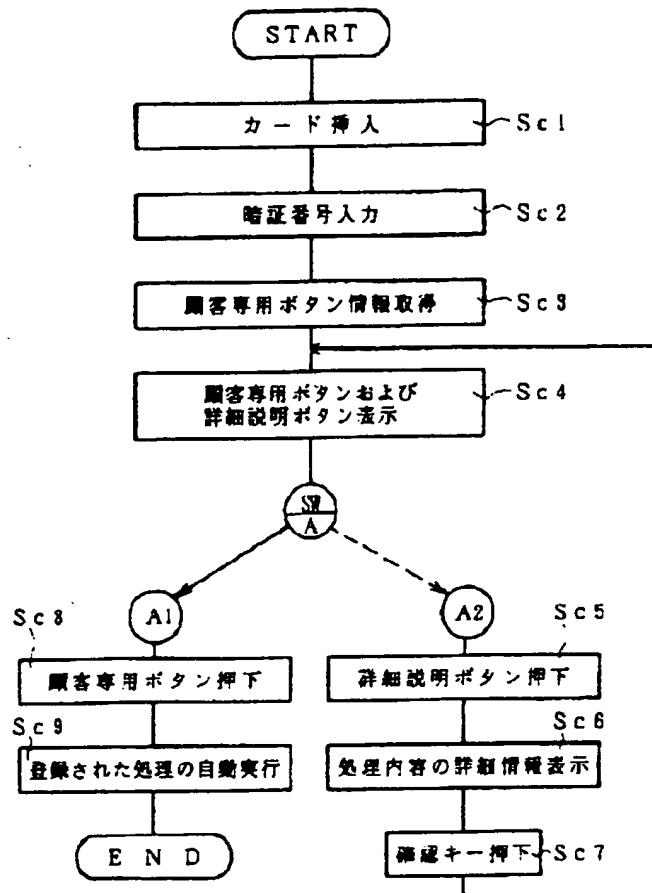


顧客専用ボタン登録のフローチャート(2)

(10)

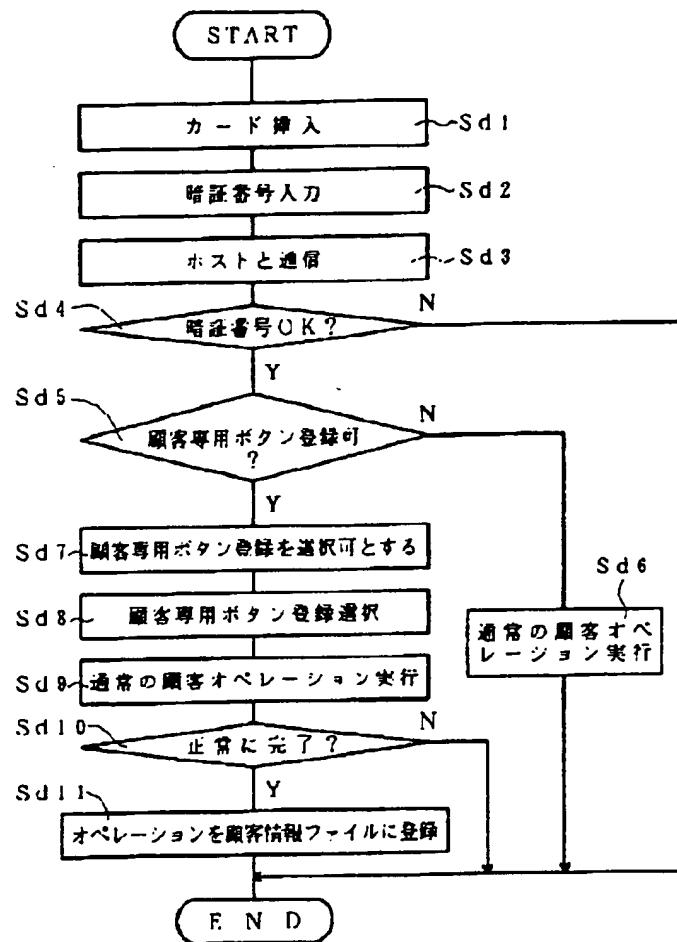
特開平138725

【図7】



顧客専用ボタン操作のフローチャート

〔圖9〕



顧客専用ボタン登録のフロー・チャート (3)